

ここが聞きたい！

一般質問



議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

今定例会では22人が質問しました。

※本文は質問者が執筆したものを編集しました。

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会ホームページにあるその議員の一般質問の動画が視聴できます。(※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります)



上越市産材の
安定供給体制の構築を
杉田 勝典（公明党）



問／輸入木材の高騰をチャンスと捉え、上越市産材の安定供給体制の構築を目指すべきでは。
答／計画的な供給に向け、地域産材の使用に努めるとともに、生産体制の強化のため高性能林業機械の導入やドローンを用いたスマート農業の試験的導入も進めているが、林地への作業道建設や森林所有者との交渉、木材加工工場が小規模である等の課題もあり、急な増産は難しい。

孤独や孤立の解決に向けて

問／当市の孤立対策の取組はどうか。また、市と市民団体とのつながりや市民団体同士のつながりが解決への後押しになるのではないか。
答／地域包括支援センターでは民生委員や町内会長、介護・福祉の専門職らと支援が必要な個人や家族への見守りや声掛け等を実践している。NPOをはじめ、様々な市民団体の力をお借りし、連携しながら、引き続き、孤立しない、させない環境づくりに努めていく。

ドローンの有効活用で地域課題の解決へ

問／地域課題解決のため、職員によるドローンを活用したプロジェクトチームを結成しては。
答／広報や農業分野、プログラミング教育等で活用している。部局間で情報共有を図り、ドローンの更なる活用を検討していく。



夏に雪対策を確認します！
滝沢 一成（輝）



問／令和3年3月定例会において、1月の豪雪災害を踏まえ、雪対策へ様々な検討等を行うと約束した。町内会との連携や支援制度、生活道路・歩道除雪、一斉屋根雪下ろし、適切な情報発信など、改善に向けてどう動いているのか。
答／理事を中心に、防災危機管理部を核に検証チームを組織し全庁的に検証作業を進めている。町内会との連携は、全町内会長へ書面による調査を実施し、除雪作業の意向や要望等を把握し、支援制度について検討する。また、「除雪事業者への聞き取り調査」で、昨冬の除雪の課題などを把握している。今後、町内会を中心に意見交換を行い、除雪路線区分の検証、地域の除雪の課題などについて認識の共有を図る。歩道除雪は、車道と歩道の除雪事業者の統一を図り、除雪路線や除雪延長の見直しを行う。一斉雪下ろしの実施期間を、平日を含めた期間とし、分散的・段階的に雪下ろしを実施することで、下ろし手を確保しやすい環境づくりを検討する。

大雪は、市民生活や社会経済活動にも影響した。停電被害対応や災害対策本部の体制も含め、全国的に検証し次への備えとしたい。

問／いつ頃その全容が分かるのか。

答／7月上旬に中間報告をまとめ、関係機関等と検討を重ね、10月下旬の除雪計画の公表時に最終的に報告したい。